



# 長門の話題

## Topics

### 長門市タグラグビーフェスティバル2016 未来のラグビー選手が集結

6月5日(日)、長門市タグラグビーフェスティバルが油谷コミュニティパークで開催され、小学生から大人まで約300人が参加しました。



▲トップリーグに所属する選手による指導が行われた

試合前に行われたタグラグビー教室では、ジャパングラグビーリーグに所属するパナソニックワイルドナイツの北川智規選手と布巻峻介選手が指導者として招かれ、タグラグビーの基本であるタグを取る練習やタグを取られない練習を行い、それぞれの動作のコツを子どもたちにアドバイスしました。



▲小雨が降るあいにくの天候の中、白熱した試合が続いた

### お田植えフェスティバル&棚田フォーラム これからの農業を語り合う

5月28日(土)、「お田植えフェスティバル&棚田フォーラム」が油谷後畑で開催されました。



▲田植えを終えて参加者全員で記念撮影

「お田植えフェスティバル」には安倍昭恵首相夫人のほか、山口県立大学や大津緑洋高校日置校舎の生徒、東後畑営農組合員などが参加し、昔ながらの道具を使って自然栽培米の苗を植えました。



▲油谷地区のこれからの農業をどうするか意見が交わされた

### みすみハーブを愉しむ日

## ハーブで癒しの時間を満喫

6月5日(日)、香月泰男美術館周辺を会場に「みすみハーブを愉しむ日」が開催され、約800人が来場しました。

会場ではハーブティーやハーブクッキーなどを味わえる「ハーブカフェ」やハーブを使ったリース作り、ハーブ苗やハーブグッズ販売などのテントが並びました。



▲ハーブを使ったリース作りを楽しむ

### 幻想的な光に誘われて

## 市内各地で蛍まつり

6月4日(土)、宗頭文化センターで「三隅上地区ホテルまつり」が、11日(土)にはJR渋木駅周辺で「第8回蛍のふる里まつり」が、俵山では「第15回手作り蛍祭りin俵山」が開催され、ホテル鑑賞のほか、各会場でバザーが開かれ、多くの来場者で賑わいました。



▲蛍カゴ作り体験(三隅上地区ホテルまつり)

### 10年ぶりに長門市が引き受け

## 新嘗祭に向けお田植え式

今年度の新嘗祭(にいなめさい)に上納される献穀米のお田植え式が5月26日(木)、油谷蔵小田にある、末永孝義さんの献穀田で行われました。

この日は、神事が執り行われた後、790㎡の献穀田に入り、末永さんや来賓者、早乙女の手によって「ひとめぼれ」の苗が植えられました。



▲長門市が引き受けるのは平成18年度以来10年ぶり

## 市内企業へ要請書を提出

### 新規学校卒業者の市内就職先確保へ

若者の地元就職率の向上を図り、市内定着を促進するため、6月16日(木)、大西市長と萩公共職業安定所の藤本所長が市内の企業2社を訪れ、新規学校卒業者の正規採用枠の確保など要請しました。



▲大西市長と藤本所長から要請書が手渡された



## 地域の安心・安全確保に向けて

山陰地方の高規格幹線道路網の一部を形成する道路として期待されている「長門・俵山道路」のうち、大寧寺第3トンネル工事の安全祈願祭が5月22日(日)に行われ、関係者約60人が出席して工事の安全を祈願しました。

大寧寺第3トンネルは全長約1.8キロで北口と南口から工事を開始し、平成30年3月末までに開通する見通しです。「長門・俵山道路」は延長5.5キロの自動車専用道路で、並行する国道491号線や主要県道の代替路として、災害時の俵山地区の孤立を回避したり、救急医療活動を支援するなど、地域の安全・安心の確保を目的としています。



▲工事が進む大寧寺第3トンネル

## 全長84・39kmのコースを設定

平成29年度に油谷・日置地区をコースとして開催される「むかつくダブルマラソン大会」の第1回目の実行委員会が6月9日(木)、市役所日置支所で開催されました。大会開催日は平成29年6月11日(日)で、ダブルマラソン、シングルマラソン、棚田ウォークが予定されています。



▲今年度の事業計画や予算が審議された

香月泰男美術館企画展「画家からの贈りもの1」

## 香月家寄贈作品を初展示

香月泰男画伯の作品を収蔵・展示する香月泰男美術館で企画展「画家からの贈りもの1」新収蔵作品より」が6月4日(土)から始まり、オープニングを記念したセレモニーが開催されました。

今回の企画展は、香月泰男画伯の遺族より市に寄贈のあった230点を超える作品の中から、初期から晩年までの油彩画や日常を描いたスケッチ、画伯が収集したピカソやルオーなど海外作家の作品などが展示されており、どの作品も香月泰男美術館では初めて展示されるものです。開催期間は9月26日(月)まで。



▲婦美子夫人も出席してオープンを祝った

大津緑洋高校日置校舎の生徒が運営

## 「農高夢市場」オープン

大津緑洋高校日置校舎の生徒が運営する農産物直売所「農高夢市場」が5月25日(水)、今年度最初の開店日を迎え、地元住民らが生徒が作った野菜や加工品を買い求めに訪れました。「農高夢市場」は来年1月まで原則毎週水曜日に開催される予定です。



▲生徒自らが接客などの運営に携わる

# 長門のPeople

友人の夢を、みんなでかなえた場所。

とみやま 遠矢美和さん

(海そばのカフェ bliss point) / 福岡県北九州市出身



平成28年6月、油谷西立石地区に、店内から海や立石観音を眺められるカフェがオープンしました。店名の「Bliss point」は日本語で「至福の場所」を意味し、居心地の良さが魅力です。以前は小学校の講師をしていたという遠矢さん。高校時代からの友人ががんに侵されたことを機に、彼女の夢であり、自身の夢でもあったカフェ経営に挑戦することを決めました。

空き活用事業を利用。一年以上にわたる出店準備やメニューの考案には、同級生を中心に多くの人の協力があり、つながりの大切さを実感したといいます。オープン前日には、北九州市から37人が集い、彼女との思い出話を花を咲かせました。地域住民が続々と訪れるこのカフェを「今後は地域や人がつながる場として活用したい」と遠矢さん。「晴れ晴れとした気持ちになる」海を眺めながら、新たな出会いを心待ちにしています。



▲空き家を活用してつくられたカフェは、居心地の良さが魅力

# 旬な人

## 山口県総合防災訓練 長門会場 訓練で防災意識を高める

5月29日(日)、山口県総合防災訓練が萩・長門・阿武地区で実施され、長門市では仙崎漁港を会場に関係機関や市民など約300人が参加しました。訓練は山口県沖日本海を震源とするマグニチュード7.5の地震が発生し、長門市においては震度5強を観測、津波警報が発表され、長門市は避難指示を発令して情報伝達と災害対応にあたることを想定して行われました。

会場では応急救護所の開設訓練や倒壊家屋からの救出訓練、海上漂流者救助訓練において警察署と消防署、海上保安部、医療機関の連携訓練が行われたほか、AED使用体験や非常食試食会も行われ、参加者は訓練を通して防災意識を高めていました。



▲避難情報や負傷者情報を集約し、正確な情報把握に努める



▲倒壊家屋から逃げ遅れた人を救出する訓練